

## レーザーラマン顕微鏡 (ナノフォトン : RAMAN-11)

ラマンスペクトルにより試料の成分組成、結晶構造や化学構造の分析を行うことができ、スペクトル画像により物質や結晶の分布がわかります。532nmと785nmのハイパワーレーザーを搭載しており、ライン照明による高速イメージングが可能で、最高350nmの空間分解能を有しています。半導体や二次電子、無機材料、高分子・生体材料など幅広い分野で利用できます。



### 【仕様】

光学顕微鏡	正立型 (透過照明/反射照明)
レーザー波長	532nm、785nm
レーザー照射方式	ポイント照明及びライン照明
スキャナー	ガルバノメーターミラーによる高速X-Yイメージング 試料ステージによるZ軸方向走査。ステップ幅50nm。
グレーティング	300gr/mm、600gr/mm、1200gr/mm
検出器	電子冷却CCD (1340×400画素)
空間分解能 (X/Y/Z)	350nm/1000nm (@×100 0.90NA対物レンズ使用時)
顕微分光性能	@1200/mmグレーティング使用時
分光分解能 (FWHM)	1.6cm <sup>-1</sup>
ラマンシフト検出範囲	80~4000cm <sup>-1</sup>
対物レンズ	×5、×10、×20、×50、×100
オプション	
簡易偏光セット	偏光フィルタ2個 (POL↑↔、POL↔)、水晶波長板1個 (λ/2↑⇒)
試料密閉容器LIBCell	不活性雰囲気ラマン測定用、試料サイズはφ10mm、深さ1.5mm
設置場所	C10棟 302室
カテゴリー	観察